

参加者募集

3人の友達、  
親子、家族、  
サークルメンバー  
最強の仲間と..

2023年3月18日(土)・19日(日)  
於：茨城県行方市高須崎公園沖

葦舟世界大会 第3回 霞ヶ浦

# 葦舟を造り乗る 二日間の挑戦

1チーム大人3名以上  
参加費 大人6千円 小人3千円



主催：NPO法人霞ヶ浦アカデミー 行方カヌークラブ

後援：行方市 茨城県 霞ヶ浦漁業協同組合 行方市商工会  
玉造ロータリークラブ (一社) 行方フライド

お問い合わせ：kasumigaura.academy@gmail.com

## ニホンウナギ杯争奪

### 第3回 霞ヶ浦葦舟世界大会【大会要項】

#### 目的

湖岸で自ら葦を刈り、その葦を束ねて自ら葦舟を作り、その葦舟を自ら漕いで、その性能を競う大会を実施することで、葦原を整備しながら、湖とつながる人を増やすことを目的とする。

#### 主催

NPO法人霞ヶ浦アカデミーおよび行方カヌークラブ

#### 3. 後援（予定）

行方市 茨城県 霞ヶ浦漁業協同組合 行方市商工会（一社）行方プライド 玉造ロータリークラブ

#### 期日

2023年3月18日・19日 小雨決行

（予備日 3月25日（土）および26日（日））

#### スケジュール

初日（3月18日）



二日目（3月19日）



#### 場所

葦刈り 高須崎の湖岸（地図参照）

葦舟作成 高須崎公園の西側駐車場（地図参照）

競技 霞ヶ浦大橋の南側、行方市側からスタートして橋中央手前半分で折り返すコース（地図参照）。荒天時は、萩根川舟溜南の離岸堤内のコース（地図参照）。

#### 舟体および操舟

舟体は、霞ヶ浦湖岸で生育した葦または草および大会事務局が用意した麻ひものみで構成されること。大きさや形、乗員数は自由とする。革新的な設計を推奨する。

パドル、オールまたは竿で操舟すること。これらは市販のもので構わない。パドルの貸出有。

#### 競技ルール

コースを3周して順位を競う。

乗員は、スタート・ゴール地点で交代しても構わない。すなわち最大3組が乗り込むことができる。

スタート・ゴール地点では、必ず艇は岸に触れなければならない。

#### 参加資格

3名以上からなるチーム。18歳未満の参加者は保護者の同意を必要とする。

#### 参加費

一般（1名あたり）6千円、中学生以下（1名あたり）3千円（昼食会、傷害保険を含む）

#### 表彰

タイム上位のチームと、技術的に優れた葦舟を製作したチームを表彰し、ニホンウナギ杯を贈呈する

#### 申し込み方法

以下にURLを入力するか、QRコードを読み込み、申込・参加費をお支払いください。



URL <https://3rd-ashibune-tournament.peatix.com/>

※申し込み後の返金はいたしません。（悪天候、自然災害などによる延期を含む。）

#### 申し込み締め切り

2022年2月18日（日）締め切り厳守願います。

#### 問い合わせ先

NPO法人霞ヶ浦アカデミー事務局 菊地章雄

[✉kasumigaura.academy@gmail.com](mailto:kasumigaura.academy@gmail.com)

#### 附則

主催者は、競技中の事故や盗難・紛失などに際して応急処置や傷害保険の対象範囲を除いて一切の責任を負いません。

主催者は、駐車場や宿泊所内の事故や盗難などに、一切の責任を負いません。

大会出場中の映像、写真、記事、記録などのテレビ、新聞、雑誌、インターネットなどへの掲載権は、主催者に属する。

## 注意事項

安全のため、ライフジャケットは必ず着用し、防寒対策にも留意ください。

ライフジャケット、パドルは事務局でも用意しますが、各自自前のもをお持ちいただくとありがたいです。

葦刈りのための鎌や軍手は事務局でも用意しますが、各自自前のもをお持ちいただくとありがたいです。

葦刈りの時には、水に入ることもありますので、長靴をお勧めします。

ウォータースポーツにおけるセルフレスキューの訓練を受けておくことをお勧めします。

葦刈りおよび葦舟の作成時には、大会事務局メンバーがアドバイスしますので、気楽にお声がけください。

## 参考情報

- ・必要な葦の量

◇葦の束（直径約20cm）30束で一人乗り一艇分になる見当です。舟を大きくするためには、葦の量をさらに多くする必要があります。大人4人で1～2時間で30束を刈ることができます。

◇葦が足りない場合に備えて、事務局で若干は用意する予定です。

- ・葦舟の作り方

◇ブログ海夫通信

[http://blog.livedoor.jp/kasumigaura\\_ac/](http://blog.livedoor.jp/kasumigaura_ac/) の中の葦舟日記：手引きに、作り方の解説があります。これにこだわらず、独自の設計を歓迎します。

・ホームページ (<https://k-acad.com/>) に随時、情報を掲載します。

## 宿泊・キャンプ

・高須崎公園の西側駐車場にテントの設営が可能です。（キャンプ場ではなく、特別に使用許可を得ていますので、節度ある利用をお願いします。焚火は禁止です。）

・近傍に下記の施設がありますので、各自でお申込みください。

- ・ゲストハウスふくろう（行方市藤井96-1）

HP：<https://www.Airbnb.com/h/kohannoie-fukuro-ibaraki> 4,200円~/人 電話 080-6607-1309（菊地）

・別邸 翠風荘 慶山 なめかた温泉玉造の湯（行方市浜2796-1）

HP：<http://www.suifusou.jp/> 電話0299-57-3838

- ・北浦パークホテル 魚福（行方市山田2856-1）

HP：<https://uofuku.com/hotel> 5,500円~/人

・行方市観光協会にその他の宿泊施設の案内があります。HP：<http://namekan.jp/>

その他周辺の土浦市、石岡市、鉾田市などには多数の宿泊施設がありますので、ご検討ください。



## 主催者挨拶

湖岸の植生帯が危機にある霞ヶ浦の湖岸線の96%は、人工的な護岸堤になったため、アシなどの水生植物の植生帯（アシ原）はきわめて減少しました。離岸堤が植生帯を作るために建設され、いくつかの場所でアシ原が復活しつつありますが、手入れがなされないため、植生帯の十分な復活につながっていません。

アシ原は、産卵場であり、水質浄化の機能を持ち、昆虫や魚などの水生生物の生息場所となります。アシを刈り取ることは、アシが吸収した栄養塩を湖から取り除き、アシ原が陸地になるのを防ぎ、植生を維持します。

しかし現在の生活においては、アシを利用することはなく、アシを刈り取るためには、新しくアシの需要を作る必要があります。

人と湖のつながりが少なくなっている散歩する人や釣りをする人はみかけますが、水辺で魚とりに興じる子供たちを見ることはありません。かつては、アシ原に産卵に集まるフナを取ったり、砂に隠れているドジョウを取ったりすることが普通に行なわれていました。また観光に訪れる人の数も多いとはいえません。

わたしたちは、この大会を通して、植生帯を復活させながら、アシを使う文化を創出し、広めることを目指しています。離岸堤のない自然な渚の復元を長期的には目指しています。

## 会場までのアクセス

東京方面  
(第3)  
成田空港



約90分  
(JR常磐線)



約90分

常磐自動車道  
土浦北IC



約30分

土浦駅



約55分  
(霞ヶ浦広域バス)

道の駅たまたつくり



約5分

葦舟世界大会会場

## 荒天時（強風など）のルート



## かんたん！申込方法

### ①メンバーを集めよう！

友達に声をかけて、3名以上のチームを作ろう。3往復するコースだから最大3組（1人乗りの場合最大3名）交代して漕げるよ！

### ②QRコードからエントリー！

参加申し込みはPeatixから！右のQRコードを読み込んで簡単にエントリーできるよ。参加費（一般6,000円/人、中学生以下3,000円/人）はクレジットカード、コンビニ支払、銀行振込が選べます。



### ③コンディションを整える！

当日は万全のコンディションで挑めるように体調管理に気を付けよう。エントリー時に記入した代表者のメールアドレスに、実行委員から重要がお知らせがあるから見逃さないで！！